

大麦特報 (第3号)

平成31年2月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

本年は積雪量が少なく、葉色は平年より淡くなっています。
今後の生育を確保するため、排水溝の手直しや適切に追肥を行いましょう。

1 排水溝の点検・手直し

水が停滞しているほ場では湿害（根腐れ症状）を受け、茎数が少なくなっています。

排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口への連結を徹底しまししょう。



排水溝を手直しして、溜まっている水を早く排水しよう！



排水溝の連結や排水口の掘り下げも忘れずに！

2 消雪後の追肥（分施体系のみ）

この時期の追肥は、大麦の生育を回復させ、適正な茎数・穂数を確保するために重要な作業です。

時期 2月下旬を目安に

施用量 硫安 20kg/10a

※茎数が多い場合(土が見えないくらい繁茂しているようなほ場)は、施肥量を減らしましょう。

※肥効調節型肥料(LP大麦48号)を施用した場合は、原則追肥は不要です。

ただし、極端に葉色が淡い場合はJAや農林振興センターにご相談ください。